



こんにちは

白子の議会

です

第105号

平成24年8月15日

編集発行

千葉県白子町議会

☎ 0475(33)2169



夏の風物詩 南白亀川イカダのぼり大会

第2回定例会

平成24年第2回定例会が6月13日開催されました。
一般質問は、3名の議員が町政をただしました。

3議員が一般質問2~4ページ

平成24年度 一般会計第2回補正予算質疑応答.....5ページ

こんなことが決まりました.....6ページ

一般質問 町政をきく

「防災対策」について

宗島理仁議員

議員 今後、住民に対し啓発活動をどのように行うか伺います。

知識の普及に努める

町長 町では、自助・公助・共助の対応を基本に様々な施策に取り組んで行く事で、町民一人一人が災害時に適切な行動がとれるようにしていきたいです。

津波避難マップ作成について

議員 津波浸水予測図の具体的な進捗具合について伺います。

秋までの目標は変わらず

町長 現在、県より示されたデータを津波避難マップに反映をさせていくために、専門家の協力を得ながら検討を進めています。



「訓練放送」の実施について

議員 災害を想定した訓練放送の予定や内容について伺います。

防災意識を高めるために

町長 町民一人一人の防災意識を高め、いざというとき迅速に避難できるように、訓練放送をしていきます。

防風林について

議員 海岸地方の防風林に対し、整備計画と今後の松食い虫対策等の管理がどのように行われるのか伺います。

県の指示に従って整備計画

町長 今年度からは、五月に策定されました「千葉県海岸県有保安林整備指針」に基づき九十九里

地区全体として整備が進められます。松食い虫の被害対策は、薬剤散布などを実施しています。



小中学校の防災教育について

議員 小中学校での防災教育プログラムについて町として具体的な関わり方があるのか伺います。

新たな防災マニュアルを基に

教育長 防災教育プログラムについては、東日本大震災の経験等を基に、各小中学校におけるマニュアルの改訂を行ったところであります。

産業振興について

議員 商工業復興のために新たな施策はあるのか伺います。



喫緊の課題として取り組む

町長 夏季観光のこの入れば喫緊の課題です。この対策として、県が夏の海水浴客の呼び戻しの目玉として「がんばろう！千葉」有料道路利用観光振興事業補助金が事業化をしました。その活用を図るべく、東金九十九里有料道路と九十九里有料道路の往復通行券六千枚を観光客に配布することを計画しております。

若手経営者支援について

議員 若手経営者や後継者を育成する支援や対策があるのか伺います。

町の活性化につながるために

町長 若手育成が町の活性化への早道であると考えております。若い人たちが自主的に提案していただければ支援は惜しまないつもりです。

提出された署名 防災教育のその後は

東海林東治議員

議員 四月二十五日町民三、三三一名の署名をもとに、防災教育の充実に求める要望書を町長に提出いたしました。これをどのように受け止め、その基本的な対策をどのように検討されたか尋ねます。

必要な対策を講じる

町長 防災教育に関する要望書、多くの方々の署名を添えて頂きました。町民の安全安心の確保と災害に強い町づくりのため、出来る限り必要な対策を講じなければいけない事を改めて考えた次第です。



地域防災教育について

議員 地域防災教育に対してどのように進めていくのか。

周知徹底及び講演会等の開催回数 の充実を図る

町長 地域防災教育に関しては啓発啓蒙、防災知識の普及等、積極的に行っていきたい。あまり実施していない講演会等の回数を増やしていきたいと思っております。

学校での防災教育は

議員 各学校での防災教育を、町はどの様に支援していくのか。

学校・地域と関係機関との連携と協議を

町長 学校と地域が連携した避難訓練の実施、それに関しても関係機関と協議を行っていききたいと思っております。



必要な人的・財的支援 の充実した対策は

議員 災害を自分の身近な危険と認識した上で、災害の脅威を学ぶ授業、必要な知識を得るための安全安心ブックレットの作成等また、地域防災ワークショップを開催するのには財的支援が必要である。

以上を踏まえた中で人的支援、財的支援の充実された対策を考えているか尋ねます。

必要・可能な支援を検討

町長 昨年の震災以降、改訂されたマニュアルをもとに、随時訓練を実施しながら、必要なもの、可能なものは支援していきたいと思っております。

町の防災減災ニュー ディール対策は

議員 防災、減災に繋がる公共事業は現在、社会資本の老朽化、不況克服の経済対策の一つだと思っております。損傷が顕在化している虎橋・旭橋・南日当橋・剃金水門の操作遠

隔システム、町全域が平坦な地域の為、築山公園、道路整備事業が考えられますが実施の計画を尋ねます。

橋の架け替えから 避難道路整備を

町長 安全・安心なまちづくりの一環として災害に強い地域づくりの観点から国の緊急防災減災事業制度を活用した公共事業を進めております。本年度から避難道路整備として南日当橋に通ずる一八二号線、二〇二七号線の整備、南日当橋の架け替えを行う予定です。

通学路の安全 対策について

議員 先入観を持たず、子供目線で通学路の安全調査をどの様に実施していくのか尋ねます。

危険箇所を把握共有し 整備必要箇所は改修

町長 予想もしない事件事故があり保護者の心配不安がつものっている事も理解し、町も種々取り組みをし、地域安全マップに

交通安全上、注意を要する所を地図に落とし校内へ掲示し、全児童に注意を促し、先生方の巡回パトロールを加え安全対策を図っております。通学路の安全確認は、各小学校区内に設置されており、青少年健全育成白子町民会議その他地区育成会が安全確認及び危険箇所を洗い出し整備が必要箇所は改修を行っております。



備品管理について

議員 町の資産、又財産である備品管理は各課毎に明確に把握されているか。

消耗品も適切に管理

町長 担当課ごとに台帳を備えて把握しているところ。消耗品については明確に把握してない物もありますので備品に限らず、消耗品についても適切な管理に努めていきたいと思っております。

再生可能エネルギーの導入促進を

市川隆子議員

議員 世論調査では、多くの人が原発からの撤退を期待しています。

石油、天然ガス、石炭は枯渇性エネルギーといわれ限りがあるなかで、自然エネルギーの導入も必要になってきます。

町で実施している住宅用太陽光発電システム設置補助金の利用実績を伺います。

また、エネルギーの自給は、災害に強いまちづくりを進める上でも今後の課題になると思います。町では、自然エネルギーを推進する施策をどのように進めていくのか伺います。

可能性を
見きわめていく

町長 住宅用太陽光発電システム設置補助事業を本年度より実施していますが、三十件の予算に対し四件の利用です。問い合わせ件数は相当ありますので、住宅リフォーム補助事業や若者マイホーム

△取得奨励事業とあわせて、導入の促進を図っていきたくと考えています。また、今は天然ガスの水素を化学反応で電気と熱に変える新たな装置が開発されていますので、安全性、効率性、導入の可能性などを見きわめていきたいと思えます。



耐震化が待たれる国民体育館

公共施設の耐震計画は

議員 建築基準法改正で耐震基準が導入され、建

物の耐震性の強化が図られました。町の施設でも耐震診断をしなければならぬ建物はまだありませんが、今後どのように計画を進めていくのか伺います。

また、個人住宅の耐震診断補助事業も実施しています。進捗状況は思わしくないようですが、実績を伺います。

順次すすめる

町長 本町の公共施設の耐震化率は八十三、九パーセントです。今後は、国民体育館、役場庁舎等を順次診断し、補修・補強を行っていきます。個人住宅は、五十パーセント補助ですが、実績は二件程度なので今後どのようにすすめるか検討中です。

災害弱者の避難支援は

議員 災害対策基本法には、国・都道府県・市町村の責務が書かれています。とりわけ自治体の責務は「地域や住民の生命

身体及び財産を災害から保護する」と非常に重いものだと思います。今は、共助の精神がよく言われますが、行政の責務も明確にしないと、高齢者や障害者など災害弱者に被害が集中する結果を招きかねないと思います。要援護者の安全、迅速な避難についての考えを伺います。

共助・公助の精神で

町長 平成二十二年から消防団、自治会長、民生委員と協力して、本人の同意を得て、災害時要支援者リストを作成してありますが、津波のときだけは最善の避難方法がありません。自主防災組織等で議論してもらい、共助の精神も発揮してもらい必要もあると思いますし公助も一緒に考えていきたいと思っています。

通学路の安全点検・整備を

議員 通学路の安全点検はPTAなどを通じて実施され、通学路の整備が



通学風景

優先的にすすめられました。

先日、スーパーハヤシ前の道路は夕方、特に車も多く、信号機の設置ができないか、という声がありました。

安全点検や設備は、どのようにすすめていくのか伺います。

安全検証再度行う

町長 スーパー前を横断する危険性は承知していますので、いい方法を考えたいと思います。

通学路の安全検証は、再度行うことを約束します。

平成24年度第2回補正 予算に対する質疑・応答

【大多和正之議員】

議員 現在、被災地のがれき処理が進まない状況にある中で、長生広域環境衛生センターゴミ処理場で被災地等のがれきの処理を受け入れたらどうか伺います。

町長 そういう気持ちは私も同感であります。実は、その前に長生郡市の焼却した灰の一部を市原市にあるエコセメント工場でセメントに混ぜて

リサイクルしてありますがそのセメントから放射能が検出され、現在、市原のエコセメント工場が休止状態であり、長生郡市の焼却灰は、フレコンパツクに入れ、広域環境センター駐車場の脇にストツクしております。ストツクしている焼却灰は、長野県まで運搬して処分しておりますので、他地区の処分まで受け入れる余裕がありません。御理解をお願いします。



今も残る被災地のがれき

【河野豊議員】

議員 県が今夏の海水浴客の呼び戻しの目玉として有料道路を無料化にして通行券を発行する観光振興事業について、配布内容及びルートを教えてください。



白子インター入口

商工観光課長 昨年の大震災後、外房への観光客が激減し、その対策として県は、景気対策の一環として東金九十九里有料道路と九十九里有料道路（波乗り道路）などを今年

度夏場の限定期間と定め有料道路の往復の無料通行券を発行するものです。事業費の内、県支出金

として五七六万円、町負担は諸費用として約百万円であり六千枚の往復通行券を配布します。内訳は、ホテル組合に五千枚、民宿関係に五百枚、その他観光地引網目的のお客様や、町のイベントなどに来られた人達を対象に五百枚を用意する予定です。

この通行券については、有効期限がなく今回、白子町に来てくれたお客様に配って、もう一度来町してもらおうかと、ホテル等にご予約いただいたお客様にこちら側から郵送なり事前に配布が出来るような形を今、検討しているところです。



町内を走る九十九里有料道路

こんなことが、決まりました。 定例会 第2回 議案の内容

請願書

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書（採択）

「国における平成二十五年教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書（採択）

議案

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書（可決）

国における平成二十五年教育予算拡充に関する意見書（可決）

永年在職議員表彰

平成二十四年第二回定例会において、永年在職議員に対する表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、千葉県町村議会議長会より永年にわたり地域振興と地方自治の進展に尽くされた功績により表彰されるものです。

本町議会から次の一名の議員が表彰されました。心からお祝い申し上げます。

自治功労者

（議員在職十一年以上）

板倉正道議員



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は9月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2169/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

七月十七日、関東地方で梅雨明けし一ヶ月過ぎましたが、七月には九州地方で豪雨により大災害となり被害を受けた方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。また昨年の東日本大震災から一年半が経過し国民が一致協力して復旧から復興へと進んでいます。我が白子町も夏の海水浴シーズンを迎え多くの来町者で昨年よりは活気を取り戻している中、私達多くの国民が三年前の衆議院選挙で自公政権が民主党政権で選択した数多くの現国會議員が、今では三党合意し私達国民の理解を得ないで消費増税へと進んでいます。

現在の消費増税、原発再稼働、防衛問題等、多くの課題に残念ながら民意は反映されませんでした。これらの問題はどれも避けて交わす事の出来ない問題ですので、一年以内に衆議院解散総選挙がある時は私達が自分の考えで、しっかりと【選択肢】を決めて決断（投票）して頂きたいと思えます。

大多和 正之